

市産木材の皮等を用いた カゴやアート作品の制作及び販売 中間報告



コンテンツMDフィールドワーク

小池、石川、近藤、藤井、渡辺、後藤、林、高田、岡田

目次

- 本プロジェクトの紹介
- 調査テーマと目的
- 昨年度の取り組み
- 今年度の取り組み
 - 1. 材料調達からの工程 (木の皮)
 - 2. 制作物
- 今期 (今年度) の目標

文京学院大学 コンテンツMDフィールドワーク

一年間のフィールドワークを通して、
商品開発などを通じた課題解決や地域復興支援に取り組んでいる



調査テーマ

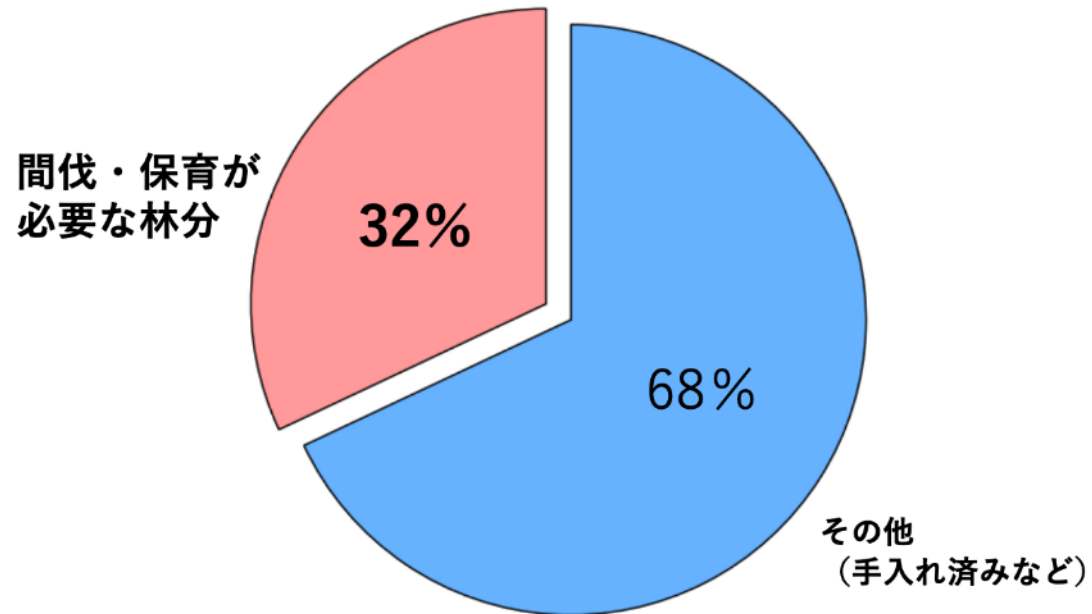
昨年度より取り組んでいるテーマ

「**市産木材**の皮等を用いた**カゴやアート作品**の制作及び販売」

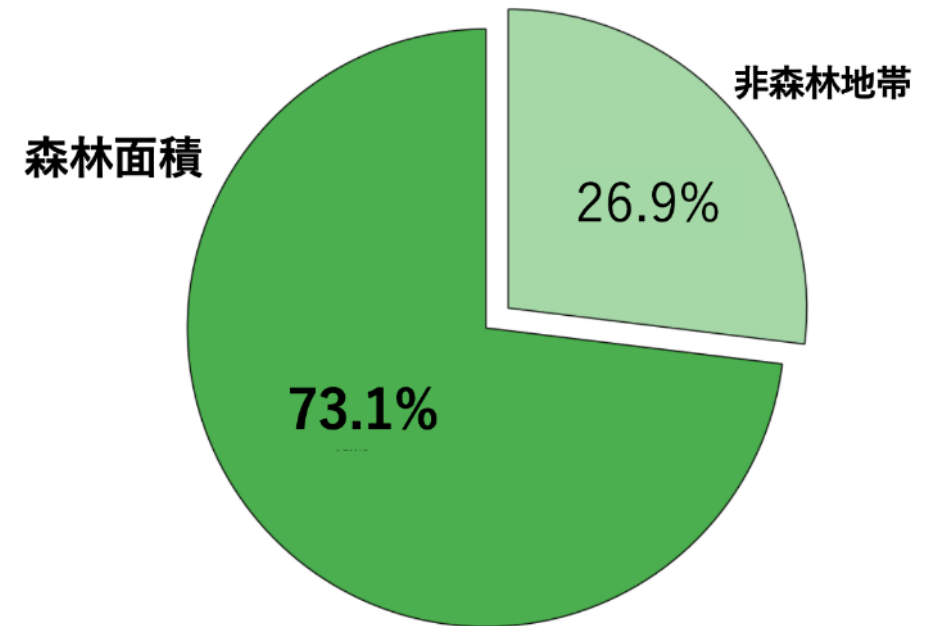


調査テーマの現状

盛岡市民有林における
間伐・保育の必要性



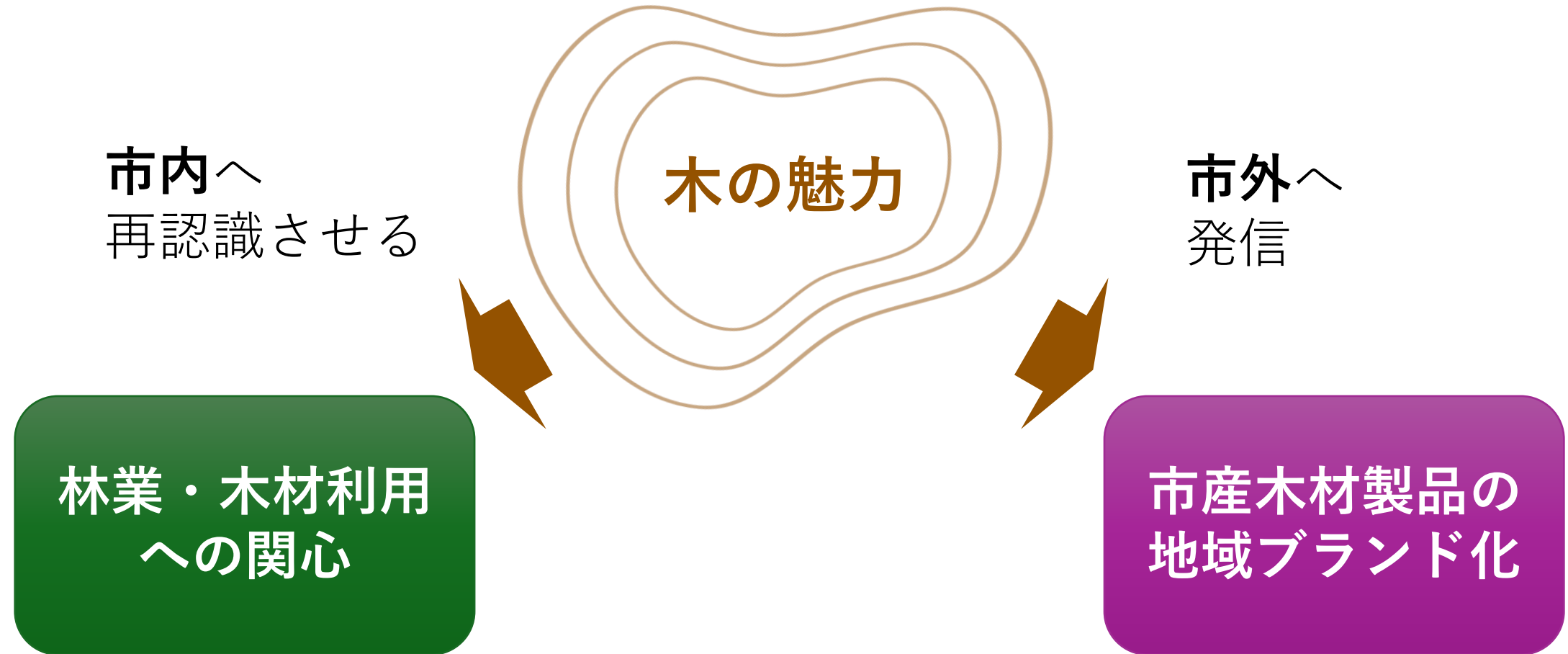
盛岡市の市域に占める森林の割合



出展：盛岡市森林整備計画

<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sangyokei/1010014/1010015.html>

調査テーマに取り組む目的



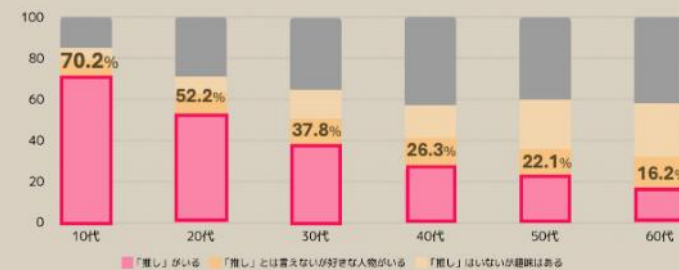
昨年度の取り組み



データ① 「推し」がいる人の割合

10代は7割、20代は5割の人に「推し」がいる

(10~69歳の男女1380人に調査)



引用元：博報堂『OSHINOMICS REPORT』

https://www.hakuhodo.co.jp/humanomics-studio/assets/pdf/OSHINOMICS_Report.pdf

データ② 推し活にいくら使っているか

高校生平均は年間約58,000円、大学生等平均は年間約90,000円

(推し活をしている人450人に調査)



引用元：SMBC『10代の金銭感覚についての意識調査 2024』

https://www.smbc-cf.com/news/data/2024/08/news_20240822.pdf

今年度の目標設定

1. 材料調達からテスト販売まで通して取り組むこと

2. 木の皮の商品やオブジェによるブランディング

販売方法の策定

文京区での
調査

盛岡市での
テスト販売

5・6月の訪盛（皮の採取）



木を切る



皮に切り目
を入れる



皮を剥ぐ



垂直方向
に巻く

5・6月の訪盛（皮の採取）



くるみの木の皮

ぶどうの木の皮

収穫量



裁断



削る

その後（皮の手入れ）



干す



色を落とす試み

制作物の検討

くるみ・ぶどうの木の皮の特徴

	くるみ	ぶどう
厚さ、硬さ	厚い、硬い	比較的薄く、柔らかい
乾燥前の色	黒みがかった色	茶褐色
乾燥後の色	こげ茶	やや赤みを帯びた茶色
その他	表面が粗い	縦に裂けやすい

制作物の決定



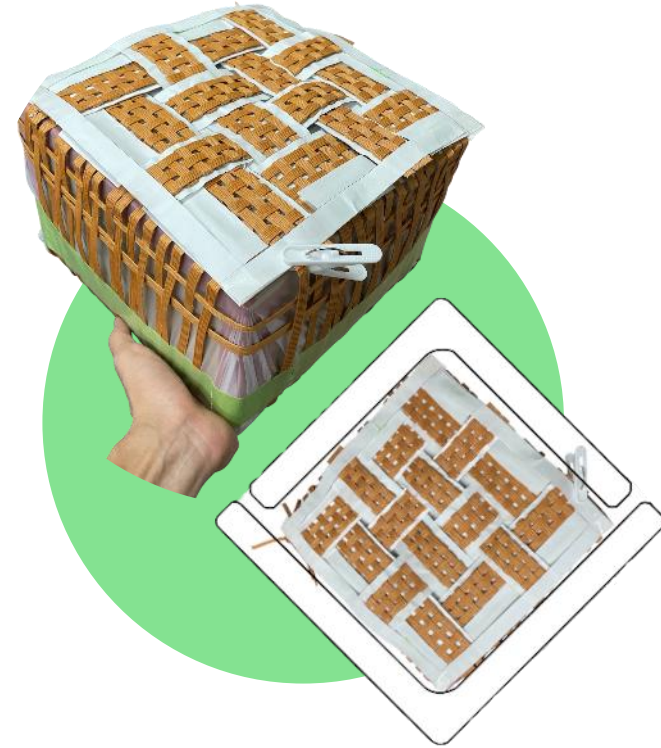
かごバッグ
(継続)



リース



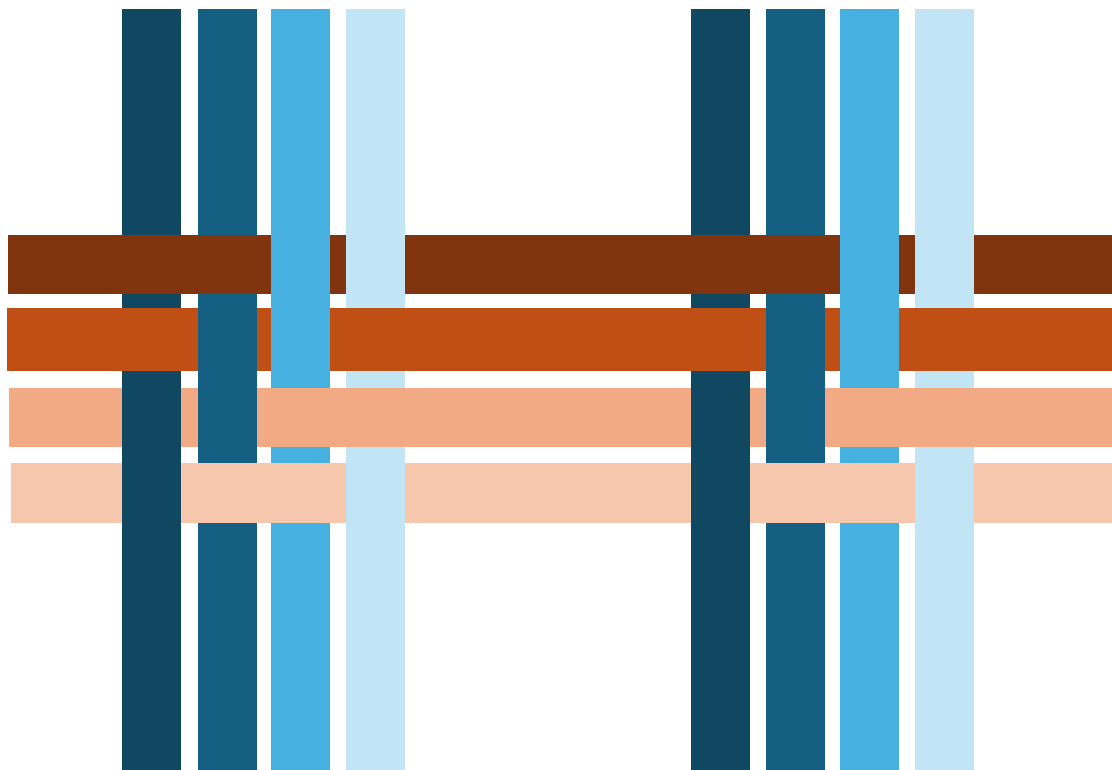
ランプ



道の駅
オブジェ

制作物 かごバック

かご網教室（廣田美津夫先生）
本学本郷キャンパス, 8月26日~30日



網代編み



制作物 リース



- リース試作
 - クラフトペーパー、紙を使い試作



制作物 リース 土台と飾りの試作

試作 1 回目



試作2回目



試作回3目



制作物 リース

くるみの皮の性質の気づき

Before



After



道の駅もりおか渋民（愛称：たみっと）

つどう、
つながる、
つむぎあう。



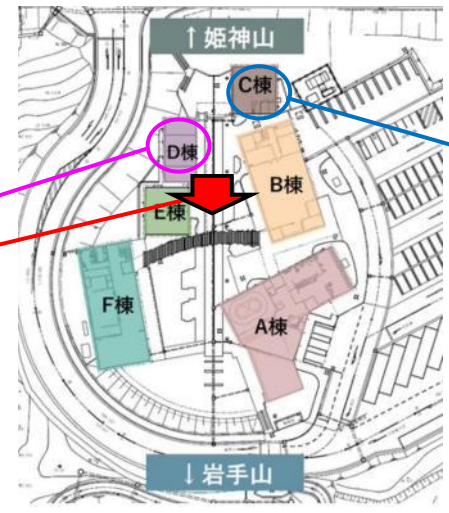
道の駅
もりおか渋民
Morioka Shibutami

石川啄木の短歌にでてくる色がモチーフ

- A棟** わかれをれば妹としも 赤き緒の 下駄など欲しとわめく子なりし
幼い時に「赤い糸の下駄がほしい」と泣きわめいていた妹のことを思い出す。今は離れて暮らしている妹がいていいことだ。少し遠い記憶として残る情景の中の「糸」であることから、少し色褪せ、やわらかな光に照らされたような色合いとしました。
- B棟** あはれ我がノスタルジヤは 金のごと 心に照れり清くしみに
ああ、自分の郷愁の思いは、金のように、濁った心を洗い清めて照り輝いている。ふるさと、過去のすべてのものへの懐かしさが放つ、金のような高貴な光。豪華さではなく落ち着きとあたたかさのある色としました。
- C棟** ふるさとの停車場路の 川ばたの 胡桃の下に小石拾へり
渋民の家から好停駅に向かう川端の道の途中、ふと何げなく胡桃の木の下で小石を拾ったこともあったことよ。ふるさとの停車場とは渋民ではなく、好停のこと。旅立ちの駅へ向かう道沿いに静かに立つ胡桃の木をイメージしました。
- D棟** 馬鈴薯のうす紫の花に降る 雨を思へり 都の雨に
都会に降る雨に憂鬱になる時、ふるさとのじゃがいも畑に咲く馬鈴薯のうす紫の花に降っていた雨を思い出し、郷愁の思いがこみ上げる。天候は雨。明るいうす紫ではなく、花弁を湿らす雨をイメージした色としました。
- E棟** やはらかに柳あをめる 北上の岸辺目に見ゆ 泣けとごとくに
柔らかに柳が青く芽吹いている北上川の岸辺が、今でも目に浮かんで、望郷の涙を誘うようだ。北上川の風景と柳の葉のやわらかさを思い浮かべるような緑系の色を採用しています。
- F棟** ふるさとの山に向ひて 言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな
ふるさとの山に真正面から向かっていると、ただただ感謝で言葉は必要なく感謝している。故郷の山はありがたいなあ。光と空気との重なり合いで青みがかる遠景の岩手山を想起する色としました。



D棟

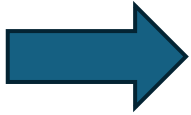
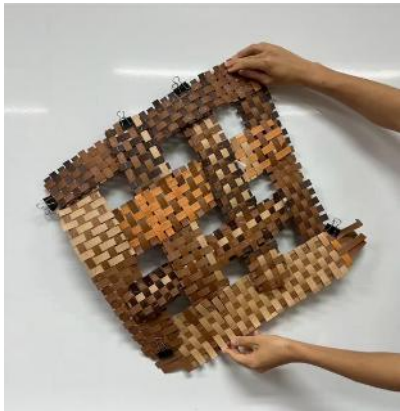


C棟



制作物 ロゴオブジェ

形を揃える



制作物 ロゴオブジェ

色の検証

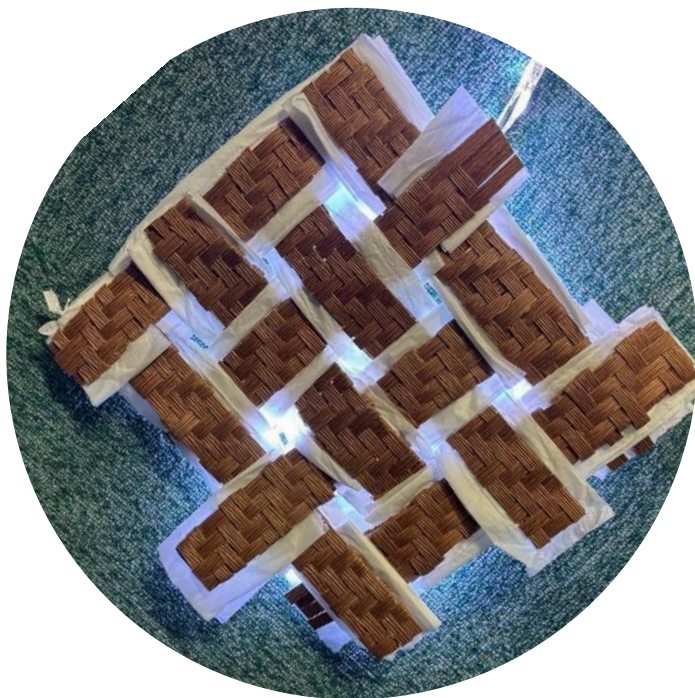


くるみの木の皮に絵の具で着色

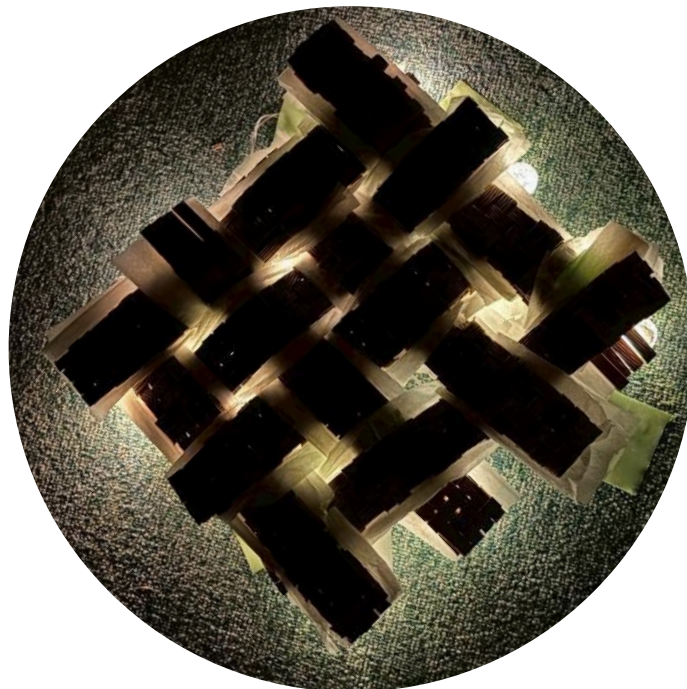
制作物 ロゴオブジェ

明かり + 紙の検証

テープライト



豆電球



スポットライト



制作物 ランプ

土台の試作



キツツキ(石川啄木)

他の鳥との見分けがつかないため断念



猫 (耳後付け)



猫 (耳つき)



チャグチャグ馬コ

立たないため断念

制作物 ランプ

土台の試作 猫



正面



横



後ろ

問題点

- ・ 横の編み込みがスカスカになってしまう
- ・ 土台の頭が抜けない

制作物 ランプ

土台の試作 球体(風船)



問題点

- ・ 接着剤が目立つ
- ・ 紙をピッタリ貼るが難しい
- ・ 明るいところだと安っぽく見える

今期の目標

木の皮の商品やオブジェによるブランディング

販売方法の策定

文京区での
調査

盛岡市での
テスト販売

制作物の販売と展示

文京区

文京学院大学 本郷キャンパス
10/18, 19 「文京祭」
にてアンケート調査



盛岡市

道の駅 もりおか渋民
12/5～7 「テスト販売会」

